



キク編

病害虫注意報 2024年8月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

高温期は立枯れ症状や害虫にご注意ください！

高温期はハダニ類、アザミウマ類以外にもチョウ目害虫も多発しやすいため、注意が必要です。立枯れ対策は薬剤防除以外にも、複数の対策を継続して行うことをおすすめします。

土壌病害 予防と対策

〈対策例〉 ①適正な水管理を行う ②遮光剤等による高温対策
③活着促進資材を使用 ④予防薬剤を使用する
萎れ症状等で根傷みの兆候がある場合は早急に酸素剤の使用など、根の回復に努めましょう！

対象病害虫・使用目的	薬剤名	希釈倍数・使用量	処理方法
立枯病など	リゾレックス水和剤※	500~1,000倍 3L/m ²	土壌灌注(生育期/5回)
立枯病(リゾ外ア菌)	ユニフォーム粒剤※	18kg/10a	土壌表面散布 (定植時または生育期/3回)
発根促進	タチガレン液剤	1,000倍 5~10L/m ²	土壌灌注(挿し芽直後/1回)

※花き類・観葉植物登録

今月のおすすめローテーション



地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては葉害が発生する場合がありますためご注意ください。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

時期	RAC コード	対象病害虫	薬剤名	使用量・希釈倍数	使用時期	回数
定植時	P2	白さび病	予 inochioキクツチャ粒剤	6~9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回
生育初期	23	アザミウマ類・アブラムシ類 ハダニ類	inochio セイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
	30	オオタバコガ・ハスモンヨトウ	ブロフレアSC	2,000~4,000倍	発生初期	3回
消灯時	34	アザミウマ類	ファインセーブフロアブル	2,000倍	発生初期	2回
	15	アザミウマ類・マメハゲリハエ ハスモンヨトウ	マッチ乳剤	1,000倍 (ハスモンヨトウ: 2,000倍)	発生初期	5回
発蕾時	4C	アザミウマ類・アブラムシ類	トランスフォームフロアブル	1,000~2,000倍 (アブラムシ類: 2,000倍)	発生初期	3回
	28	オオタバコガ・ハスモンヨトウ アザミウマ類	兼商ヨーバルフロアブル※	2,500~5,000倍 (アザミウマ類: 2,500倍)	発生初期	3回
破蕾時	5	アザミウマ類・ハゲリハエ類 オオタバコガ・イラサギノウカ	ディアナSC※	2,500~5,000倍	発生初期	2回
	33	ハダニ類	ダニオーテフロアブル※	2,000倍	発生初期	2回

※花き類・観葉植物登録

フルボディ

定植ストレスを軽減・活着促進！

葉菜類使用例 1000~2000倍
500ml/セルトレイ 灌注 定植前



葉焼け軽減に！

プロテックa

500~1,000倍 葉面散布

カルシウム、パラフィン配合
植物表皮を保護強化

